



いきいき北区

北区制70周年記念
「題字コンクール受賞作品」
を掲載しております。

題字:近藤 希乃花さん(衣笠学区)
北区ホームページ
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kita/>

12
2025/15

~銭湯で昭和レトロに浸ろう~ 要申込 有料 北区ふれあい銭湯ツアー 参加者募集!!

銭湯ツアーの第2弾は、親子向け企画!紙芝居で楽しくマナーを学んだ後は、ツアー参加者だけの貸切お風呂でゆったり。お子さんの銭湯デビューにもどうぞ!

日時 〈男湯編〉2月7日(土)13時~15時
〈女湯編〉2月14日(土)13時~15時

会場 むらさき湯(バス停「北大路堀川」から徒歩1分)

対象 市内在住の児童(5歳~小学校2年生)と保護者
※7才以上の児童を含む場合は、同性の保護者

定員 各回8組(保護者1人につき児童2人まで)
※申込多数の場合は抽選

内容 ・銭湯アイドル「おきゃん」の紙芝居
・むらさき湯さんからのお話
・入浴体験など

料金 大人 550円
子ども(5歳) 100円
子ども(6歳以上) 200円



大人気絵本
「パンダ銭湯」の
世界を再現して
お迎え!

◆「おきゃん」ってどんな人?

紙芝居を通じて銭湯の魅力を伝えようと奮闘するアイドル。
大学生の頃から銭湯好きで、2児の母として子育てに奮闘しつつ、銭湯にまつわる紙芝居を各地で実施



申込期間 12月15日(月)~1月8日(木)

詳細・申込は
こちらから



問合せ 地域力推進室 まちづくり担当 ☎ 432-1208

12月15日~31日は年末防火運動です。

暖房器具にご注意を!

布団や衣類等の布製品が、暖房器具に接触して火災が発生しています。
就寝中に寝返りを打った際、暖房器具に布団が接触し、火災になることもあります。
外出前やお休み前には、ストーブを消しましょう!



大掃除のときには、住宅用火災警報器の点検を!

寝室や階段、台所に設置されている「住宅用火災警報器」は、およそ10年経つと、本体の劣化や電池切れから、正常に作動しないことがあります。定期的に点検し、異常があれば取り替えましょう!大掃除のときに点検するのがおすすめです!

自分たちのまちは、
自分たちで守る!

年末特別警戒を実施します! 北消防団 [12月20日~31日]



火災の危険が高まる
この時期に「火の用心」を
呼び掛けます。



問合せ 北消防署 ☎ 491-4148

初開催/京都キタ短編文学賞を生んだ北区で学ぶ 小説の書き方講座 要申込 無料

世界最古の長編小説といわれる『源氏物語』の作者・紫式部とも縁の深い北区。「京都キタ短編文学賞」の関連企画として、応援大使の望月麻衣先生・宮下恵茉先生を講師に迎え、「小説の書き方講座」を開催します。

あなたもジュニア小説家! 小・中学生向け 「はじめてのものがたりを 書いてみよう」

日時 2月8日(日)

- ①10時30分~12時
- ②14時~15時30分

※①と②は同じ内容

会場 北図書館

対象 北区内に在住または通学の小・中学生

定員 各回10名 ※申込多数の場合は抽選

講師 望月麻衣先生・宮下恵茉先生

申込期間 12月15日(月)~1月13日(火)

あなただけの物語、
いっしょに書いて
みませんか?

「物語を書くなんてむずかしそう?」
いいえ、そんなことありません。コツ
さえつかめば、誰だって自分だけの
物語を書くことができるんです。

宮下恵茉先生

『ジジ きみと歩いた』
(Gakken)で第15回
小川未明文学賞大賞な
ど受賞

小説を書いてみたいけれど物語
の生み出しが分からない。この
講座は、小説を書いたことがない
方でも、物語を生み出せるよう
になる講座です。



望月麻衣先生

『京都寺町三条のホー
ムズ』(双葉文庫)で
第4回京都大賞を受
賞。京都を題材にした
著書多数

詳細・申込は
こちらから



京都キタ短編文学賞 大人・若者向け 応援大使に学ぶ小説入門講座 「ものがたりの生み出し方」

日時 3月7日(土)14時~16時30分

会場 らくたび京町家
(中京区蛸薬師通高倉西入ル泉正寺町333)

対象 15歳以上の方(中学生は除く)

定員 20名 ※申込多数の場合は抽選

講師 望月麻衣先生

申込期間 12月15日(月)~1月20日(火)

問合せ 地域力推進室 まちづくり担当 ☎ 432-1208

詳細・申込は
こちらから



ツキノワグマにご注意を

市内の山沿いの地域で目撃情報が相次いでいます。

クマは、一般的に冬眠する動物ですが、冬眠前に山中でエサが枯渇した場合や人間の生活圏をエサ場として認識した場合は、冬眠しないクマが出没する例もあります。

冬季においても山歩きをする際は、熊との思いがけない遭遇を避けるために、複数人で行動する、クマ鈴を身に着けるなどの対策をしましょう。

もしクマに出会ったら…

- 慌てずゆっくりその場から離れる。
- 石や棒などを投げて追い払おうとしない。
- クマに背を向けて走って逃げない。
- 食べ物は絶対に与えない。



問合せ 地域力推進室 まちづくり担当 ☎ 432-1208